今月の絵本

『もりもりくまさんもりのなか　もりもりもりもりもりのうち　わぉ！』　テンポのよいフレーズを思わずロずさんでしまう、愉快な絵本です

さくら新聞

～笑顔de共育て～

令和２年７月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

月の主題　　夏を楽しむ
今月の保育のねらい
・感染対策に努め、手を丁寧に洗う。
・七夕、泥んこあそびや水あそびなど、夏のあそびを楽しむ。

登園自粛要請　解除後の園生活がはじまります

コロナ禍の中で子どもたちは、友だちに会えず、リモートワークに励む家族のもとで、あるいは、登園児の少ない閑散とした保育園で、それぞれの状況に応じての**非日常生活**を約３か月過ごしてきました。

子どもたちは、日々メディアで取り上げられる感染者数、不景気、偏見、差別などの情報を内容は理解できなくても何か大変なことが起こっていて、周囲の世界が恐怖で包まれていることを、小さな心で感じ不安な思いを抱えながら過ごしてきたのではないかと思います。

今まで経験したことのない状況におかれ、**子どもも、そして大人も心に深く影響を受け、傷ついているように感じます。**

コロナ禍にあって、幼稚園、小・中・高等学校が休園・休校になっている中で、保育園が原則開園を継続してきたことで、保育園は社会経済活動を支える役割を大きく担っている場であることを強く感じざるを得ませんでした。

目に見えないコロナの恐怖と向き合いながら働いておられる、医療関係・ライフライン維持のために就労しておられる保護者の皆さんに感謝しつつ、私たち保育現場の職員も、コロナに対して不安を抱きながら、子どもたちを迎えた日々でした。

東京アラートが解除されたあとも日々、多くの感染者数が報じられ、コロナの終息はまだまだであることを思い知らされます。

さて、そんな今だからこそ、子どもたちに保育園で取り戻してほしいのは、**『保育園で過ごす楽しい時間』**です。

保育園の玄関を入ると、書道家として活躍されている乾千恵さんの『遊』と書が飾ってあります。保育園生活の象徴ともいうべき乾氏の生き生きとした書を見る度に、今日というかけがえのない日が、子どもたちにとって素晴らしい日でありますようにと願います。

保育園は、子どもたちが安心して生活する中で、自分のやりたいことに思いっきり取り組んで、つまり、遊ぶことをとおして、お互いに成長し合う場です。

このことを改めて心に留めて、今後も保育にあたってまいります。

透明マスクの導入について

子どもたちに、大人の表情がよく見えるように、透明マスクと普通のマスクを併用して保育してまいります。子どもたちには『カッコいいマスク』と好評です！

7月　行事予定

日	曜日	内　容
7	火	七夕
8	水	笹送り
9	木	身体計測（乳児）
10	金	身体計測（幼児）
14	火	おはなし会（幼児）
15	水	情報伝達訓練
22	水	避難訓練

※おはなしのへやは、引き続きお休みします。
※幼児クラスのアートくらぶは、やしぐみ16(木)、くりぐみ21（火）、28（火）です。
※ニコニコフォトの撮影は、８(水)、30(木)です。

石神井町さくら保育園の熱中症対策について

① 園庭にシェードを張り、日蔭を増やす。
② １日３回定時に、園内７地点（乳児園庭の山の下、くりぐみ前の日向50㎝の高さ、どんぐりテラスなど）で気温と暑さ指数を実測。
③ 各クラスに**暑さ指数計**を配備し、リアルタイムで測定し、戸外活動が可能かどうかを判断。
④ 園庭に大きなデジタル温度・湿度計を配備し、子どもにも、数値が見えるようにする。

熱中症については、先日配布しました**『夏のあそびについての大切なお知らせ』**に記載しましたので、再読ください。

戸外活動中止

気温（参考）	暑さ指数（WBGT）	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒（激しい運動は中止）	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28～31℃	25～28℃	警戒（積極的に休息）	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28℃	21～25℃	注意（積極的に水分補給）	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全（適宜水分補給）	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。